

大学ボランティアセンター事例集

—設立過程と活動のレポート—



INDEX

はじめに 02

大学ボランティアセンター設置事例

東洋大学ボランティア支援室 03

青山学院大学ボランティアセンター 07

首都大学東京ボランティアセンター 11

國學院大學ボランティアステーション 15

成蹊大学ボランティア支援センター 19

中央大学ボランティアセンター 23

立教大学ボランティアセンター 27

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC) 31

明治学院大学ボランティアセンター 35

ルーテル学院大学コミュニティ人材養成センター 39

【参考】東京都の取組

東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞 43

東京ボランティア・市民活動センターの事業案内 45

はじめに



東京都は、平成28年12月に公表した「都民ファーストでつくる『新しい東京』～2020年に向けた実行プラン～」において、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を機に、ボランティア活動が文化として定着することを目指し、2020年度までにボランティア行動者率40%を達成することを掲げ、様々な事業を展開しています。

東京には、全国の約2割の大学が集積し、東京2020大会の成功に向けて、多くの学生がボランティアとして力を発揮することが期待されています。そして、大会を契機にボランティア活動に親しんだ学生が、社会に出てからも活動を続けていくことになれば、ボランティア文化が定着していくことになります。

ボランティア活動の経験は、学生の人間的な成長を促すものとなることから、各大学では、ボランティア活動を支援する体制を整え、学生が主体的な活動を通じて学びを得られるよう、様々な工夫を凝らしています。そこで、東京都では、こうした大学の取組を広く普及するために、都内10の大学にご協力いただき、事例集を作成いたしました。

この事例集は、各大学のボランティアセンターの活動紹介にとどまらず、設立過程の学内調整、運営に関する課題やその解決に向けた取組を中心に掲載いたしました。また、重要な役割を担うボランティアコーディネーターにも光を当てています。しかし、ボランティアセンターの在り方は様々で、これが正解というものはありません。そこで、多くの大学関係者の参考となるよう、多様な事例を盛り込んでいます。

お忙しい中、取材にご協力いただいた各大学のボランティアセンターの皆様には、厚くお礼申し上げます。設立間もないボランティアセンターでは、設立に直接関わられた方からお話を伺うことができました。関係者の声を直接届けることを編集方針に作成しましたので、関係者の皆様のご苦労の一端でも伝えることができれば幸いです。今後、大学ボランティアセンターの設立を検討されている大学関係者や、ボランティアセンターの活動のレベルアップを考えておられる関係者の皆様の一助となれば、有り難く存じます。

平成30年3月
東京都生活文化局